

2021年10月15日

報道機関 各位

**文部科学省が、  
長崎大学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を  
同認定制度リテラシーレベルに認定  
－NICE キャンパス長崎を活用し、長崎県内の大学・短大・高等専門学校に授業を提供－**

## ポイント

- ・長崎大学「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」が同認定制度リテラシーレベルに認定。
- ・同プログラムの教材開発及び授業は、長崎大学情報データ科学部が中心となって実施。
- ・同プログラムは、今年度より長崎大学の全1年次生の必修科目化。
- ・NICE キャンパス長崎（単位相互制度）を活用し長崎県内の大学・短大・高等専門学校に提供。

## 【概要】

長崎大学の数理・データサイエンス・AI教育プログラム「データサイエンス・統計リテラシー教育プログラム」が、文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度リテラシーレベル」に令和3年8月4日付で認定されました。

「データサイエンス・統計リテラシー教育プログラム」は、政府の「AI戦略2019」において、『リテラシー教育として、文科系、理科系を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する』とされたことを踏まえて、令和2年度より開始されたものです。本プログラムは、データサイエンスと統計学の2つの授業科目で構成されており、授業の実施と教材開発は、長崎大学情報データ科学部が担っています。

なお、令和3年4月より本プログラムの受講は1年次全学生を対象とする必修科目へと拡大されました。長崎大学の全学生がデータサイエンスと統計学の基礎的事項を学習することで、様々な分野のデータを分析・説明・解釈する能力を身に付け、情報化社会における様々な事象を科学的に捉えられるようになることを目指します。

また、長崎県内の大学・短大・高等専門学校で構成する単位互換制度「NICE キャンパス長崎」の活用を通じて、教員不足のために授業を提供できなかった教育機関においてもデータサイエンス教育が提供できるようになり、長崎県内におけるデータ駆動型社会牽引に資する人材育成への貢献が期待されます。

## 【単位互換制度「NICE キャンパス長崎」参加校】

長崎大学、長崎県立大学佐世保校、長崎県立大学シーボルト校、長崎総合科学大学、活水女子大学、長崎純心大学、長崎国際大学、長崎外国語大学、鎮西学院大学、長崎女子短期大学、長崎短期大学、佐世保工業高等専門学校

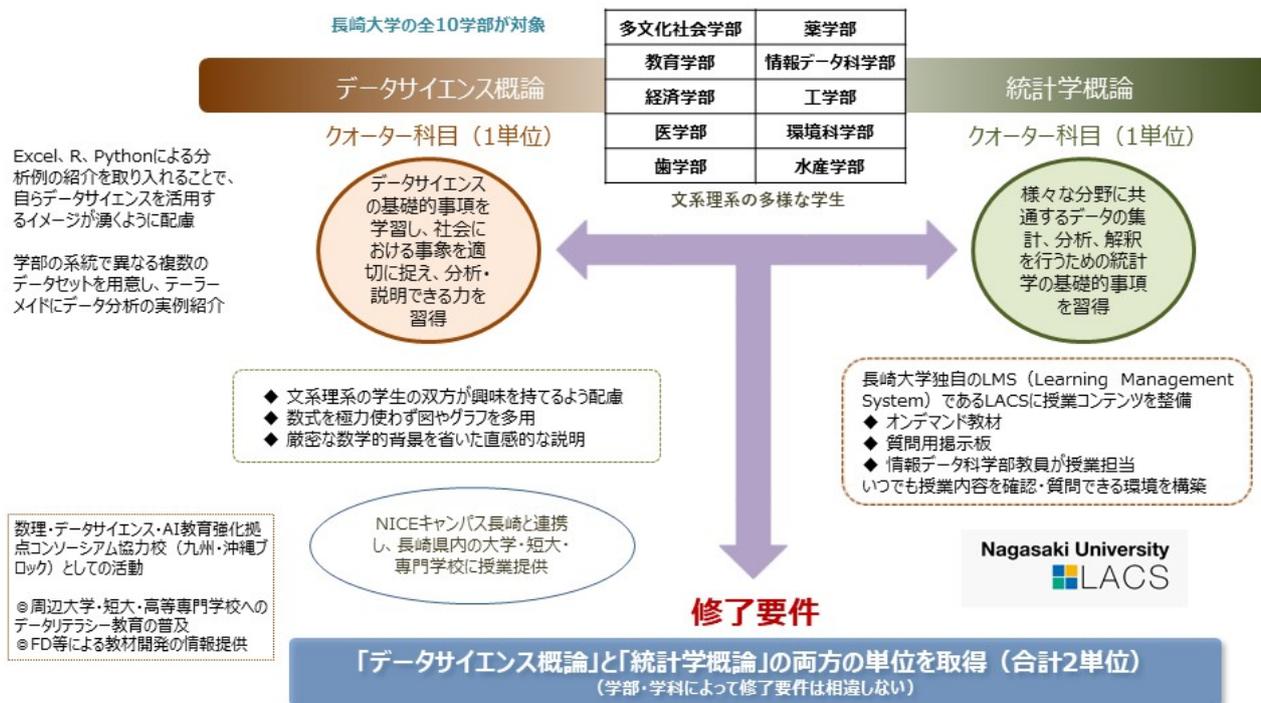
## プログラム概要

情報データ科学部（令和2年度新設）  
が中心となって授業プログラムを開発

令和2年度より全学向け選択科目としてスタート  
令和3年度より全学部1年次生必修



社会のグローバル化や産業構造の変化が加速する中、文系・理系を問わず、大学教育において、  
社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見及びデータから新しい価値を創造できる人材を養成



### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学 学生支援部教育支援課総務班

電話：095-819-2070

E-mail：kyo\_soumu@ml.nagasaki-u.ac.jp